

減CO2クラブ

2024
NO.23

令和6年度国当初予算案、令和5年度国補正予算のデコ活関連予算について

国デコ活関連予算から抜粋

1 断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2 加速化支援事業(R5 補正額:1,350 億円)

○既存住宅における断熱窓への改修を促進し、くらし関連分野のGXを加速させるため、補助を行うもの。

既存住宅における断熱窓への改修

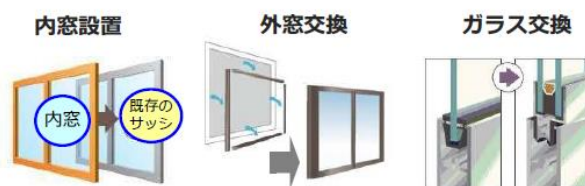
補助額工事内容に応じて定額(補助率1/2相当等)

対象:窓(ガラス・サッシ)の断熱改修工事

(熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度

2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの)

補助事業対象の例



補助対象の例



2 戸建住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等支援事業(R6 要求額:75.5億円)

戸建住宅のZEH、ZEH+化、高断熱化による省エネ・省CO2化を支援するもの

○ZEHの条件を満たす新築の戸建住宅:55万円/戸

○ZEH以上の省エネ戸建住宅(ZEH+):100万円/戸等

※ZEHとは再生可能エネルギー等により年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅

3 食品ロス削減、サステナブル・ファッション等の推進及び「デコ活」を契機としたライフスタイル変革推進事業(R5 補正予算額:5.7億円)

(1)食品ロス削減対策の地域実装の支援

- ・外食時の食べ残しの持ち帰り(mottECO:モッテコ)導入モデル事業
- ・売れ残り食品廃棄防止対策導入モデル事業

(2)使用済み衣類の利用促進等によるサステナブル・ファッションの推進

- ・使用済み衣類の利用促進のためのモデル事業の実施
- ・生活者が手軽に衣類等を回収に出しやすい環境づくりの検討

(3)「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) 推進事業

- ・自治体・企業・団体・消費者等と連携を図りながら、国の予算を根拠に民間資金を動員し、脱炭素にとどまらない資源循環やネイチャーポジティブ等も含めた生活領域全般における「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービス等を効果的・効率的に社会実装するためのプロジェクトを支援・実施し、国民・消費者のライフスタイル変革を促進する。



家の断熱について考えよう

1. 家の「断熱」はどこから？

断熱とは、壁、床、屋根、窓などを通しての住宅の内外の熱の移動を少なくすることです。住宅の断熱で重要なのが、開口部の断熱性能を高めることです。なかでも窓は、熱の出入りが大きいので、断熱上の重要なポイントとなります。

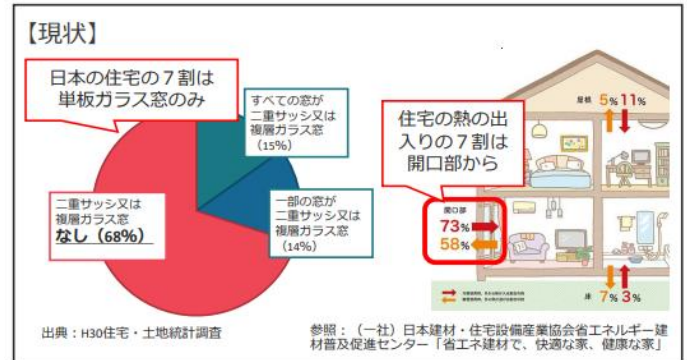
冬の暖房時に、室外に逃げ出す熱の約 6 割、夏の冷房時に、室外から侵入する熱の約 7 割は窓などの開口部からです。窓の断熱性能は、ガラスとサッシの組み合わせにより決まります。サッシを木やプラスチックを使った断熱サッシにしたうえで、複層ガラスを入れることが理想ですが、ガラスを複層ガラスとするだけでも大きな効果があります。

また、既存の窓の内側に新しく内窓を設置して二重窓にしても、複層ガラス窓と同程度の断熱性能が確保できます。内窓は比較的手軽にできる方法として、マンション等のリフォームとして有効です。

出典)資源エネルギー庁 HP 省エネ住宅とは

2. おすすめの断熱窓対策4種

対策プラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン
改修種類	ガラス交換	内窓設置	外窓交換	厚手のカーテン
断熱効果	大きい	大きい	大きい	中程度
補助制度		あり		なし



【A・B・C プラン】改修費用は窓の大きさや導入する材質ごとの価格、工事費などにより大きく変わってきます。複層ガラスへの交換や、今ある窓をそのまま生かして内窓を増設する方法や外窓を交換する方法もあります。また、サッシ枠を熱が伝わりやすいアルミ製から断熱率の高い樹脂製や木製に変更するなど、予算に応じて様々な方法があります。

【D プラン】厚手のカーテンや断熱効果のあるカーテンは夏も冬も威力を発揮します。ポイントはカーテンの長さ。床面に少しつくぐらいの丈にすることで、足元から侵入する冷気を減らすことができます。

3. 新しい「建築物の省エネ性能表示制度」が始まります。



2024年4月以降、建築物の販売・賃貸時に省エネ性能の表示が必要となります。表示内容は「エネルギー消費性能」、「断熱性能」、「目安の光熱費」等がラベルにまとめられています。自己評価されたものと第三者評価されたものがあり、住宅を選ぶときの参考情報になります。

省エネ性能ラベルの例(住宅(住戸)、第三者評価、目安光熱費あり)
出典:国土交通省 HP「建築物省エネ法に基づく建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度」

地球温暖化防止活動推進員の活動

コロナ禍で自粛されていた各地の催しも、今年度は続々と開催され、推進員の方々も市町村と共同してブース出展するなど、意欲的に活動しています。

糸島市民まつり

来場者に対し、パネルクイズによる温暖化防止啓発及びエコふぁみアプリの紹介、登録促進を行いました。



KOGA 環境ひろば

「地球温暖化防止ブース」で、「気候変動パネル」や「デコ活パネル」を展示して、デコ活、エコふぁみ、うちエコ診断WEBサービスなどの紹介を行いました。



あさくら祭り

環境ブースで、環境パネルの展示、環境クイズ、エコふぁみアプリインストール会を行い、多くの方々の参加がありました。



宮若市ふるさと祭り

「気候変動」パネルの展示やパネルを利用したクイズを通して、気候変動への理解を深める機会となりました。



あしながチャリティ&ウォーク 2023

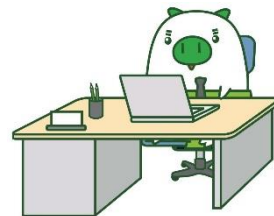
みやま市のワンヘルスイベントに出展し、温暖化対策の具体的な実践を呼びかけました。エコふぁみとデコ活チラシの内容を説明し、エコふぁみアプリのインストールを勧めました。



苅田えきらく大市

イベントステージでパネルを使ったごみ分別クイズを行い、多くの方々の参加がありました。ブースではゴミ事情を含む環境問題について説明し、環境問題を考えるきっかけづくりになりました。





イオン香椎浜店でデコ活イベント

1月13日、イオン香椎浜店で「デコ活」イベントを開催しました。

環境マークの付いた環境配慮型商品の展示、ワンヘルス認証農産物の販売、プラスチック製品の回収、プランター作り、0円服の交換会、コンポスト展示・販売、自転車発電体験、クイズラリー、エコふぁみアプリの紹介などを行いました。

家族連れを中心に多くの来場者が訪れ、デコ活や環境問題への理解を深める機会になりました。



中小規模事業所向け省エネ手引書の解説動画を作成しました！

温防センターでは、昨年度作成した「中小規模事業所向け省エネ手引書」をさらに活用していただくため、解説動画を作成しました。

解説動画は温暖化防止活動推進センターのHPに掲載しておりますのでぜひご覧ください。



サイエンスカフェを開催

昨年12月13日、サステナブルファッションをテーマにオンラインで開催しました。

環境省から持続可能なファッションのあり方、企業の方から服の交換会などの講演があり、参加者から多くの意見が出され、有意義な時間になりました。



推進員研修会を開催

昨年9月21日に中小企業振興センター及びオンラインで推進員研修会を開催しました。

九州地方環境事務所から「デコ活～暮らしの中のエコロがけ」の基調講演、温防センターから「脱炭素社会と推進員活動」の講演、県環境保全課から県の施策の説明がありました。

脱炭素社会の実現のため今後大きな行動変容、社会変容が必要であり、住民にどのように促していくべきかなど、これからの推進員活動の指針になる内容が多くあり、大変貴重な研修会となりました。



海外研修生にセンター取組を説明

昨年10月18日、タイ、ベトナムの行政官、バングラディッシュ、中国の留学生が国際環境人材育成研修のため当センターを訪問されました。

当センターの地球温暖化防止の取組についての説明及び、実際に温暖化防止活動を行っている推進員から子供向けの講座内容や大人向けの活動の説明を行いました。

説明後には、手回し発電機や紙芝居などを手に取り、熱心に見入っていました。

